

実績評価シート

担当課長：総合環境政策局総務課長

<p>施策名</p>	<p>環境教育・環境学習の推進</p>	
<p>1 施策の概要</p>	<p>持続可能な社会を構築するためには、国民、事業者、民間団体、地方公共団体、国といった各主体が、環境に対する関心を持って共通の理解を深め、意識を向上させ、問題解決能力を育成し、各主体の取組の基礎と動機を形成することにより、行動に環境配慮を織り込んでいくことが不可欠であり、すべての年齢層を対象として環境教育・環境学習を推進することが重要。</p> <p>これらのことから、本施策は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材の育成 学習プログラムの整備、情報の提供 環境教育・環境学習の場や機会の拡大 各主体の取組の支援、連携の強化 国際協力 <p>に関する具体的な施策を推進するものである。</p>	
<p>2 (1) 施策の目的、目標・達成時期</p>	<p>2 (2) 達成状況</p>	
<p>(目的)</p> <p>持続可能な社会を構築するため、環境教育・環境学習の推進により、すべての主体が環境に関する関心や理解を深め、環境に配慮した行動をとることを目標とする。</p>	<p>市民や事業者の環境保全活動に対して助言等を行う人材を環境カウンセラーとして登録。</p> <p>廃棄物、水、大気等各種のテーマに沿った学習プログラムを収集・整備し、提供。</p> <p>こどもエコクラブ等を通して子どもたちの地域における主体的な環境学習・活動を支援。</p> <p>全国的環境情報・交流拠点である「地球環境パートナーシッププラザ」に環境情報HP「環境らしんばん」を開設し、環境学習拠点施設の情報を提供。</p> <p>地球環境基金により、国内外の環境NGOに対して活動資金を助成。</p> <p>文部科学省等と連携して環境教育・環境学習に関する共同調査や事業を実施。</p> <p>アジア太平洋地域の子どものための環境保全活動や日中韓三カ国の環境教育ネットワーク形成を支援。</p>	
<p>3 課題の体系</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人材の育成 (2) プログラムの整備、情報の提供 (3) 環境教育・環境学習の場や機会の拡大 (4) 各主体の取組の支援、連携の強化 (5) 国際協力 	
<p>4 評価</p>	<p>環境教育・環境学習は、地域に根ざして行われることが大切であり、地域において、各主体がパートナーシップの下で互いに連携しながら環境教育・環境学習を推進し、各主体の環境配慮の織り込みを促進するよう、国が、人材の育成、プログラムの整備、情報の提供等、基盤となる施策を実施することは重要かつ有効。</p> <p>各種の広報活動の結果こどもエコクラブや環境カウンセラーの数は年々増加しており、学習機会や人材育成の基盤は確立しつつある。また、環境学習プログラムの整備も進み、環境教育・環境学習の推進に必要な基盤は整備さ</p>	

れつつあり、国の施策は一定の効果を上げている。

しかし、環境教育・環境学習の基盤の確立の指標として国が掲げた各種の目標はいまだ未達成であることから、今後さらにこれらの施策を推進し、基盤の確立を目指す必要がある。

また、コンピューターの普及度が向上したことから、インターネットや電子媒体の活用等による普及・啓発の推進など、より効果的・効率的な事業展開を検討することが必要。